



関川村

第134号

令和6年2月15日発行

2024

議会だより



無病息災を願って（鮎谷集落）

- 会議報告 2 ページ
- 一般質問 7 名登壇 4 ページ
- 議員活動報告 11 ページ
- 議会モニターの活動 12 ページ
- 村民の声 神田恭真さん 14 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 小澤 仁
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

会議報告

臨時会議と12月定例
会議の内容を抜粋し
て報告いたします。

臨時会議

10月3日開催

■損害賠償の額を定め和解することについて

◇庁舎外壁タイル落下による車両損害の賠償金を支払う案件です。

鈴木紀夫議員 屋上の工事が原因で破損した可能性は

総務課長 当時、工事業者は事故現場には立ち入っていないため、自然落下によるものです。

■一般会計補正予算（第5号）

◇損害賠償に10万円、防災訓練不足分110万円、空き家活用家財道具撤去補助金30万円等、総額200万

円の追加補正。

○防災訓練会場委託料、防災訓練資材使用料

110万円

平田広議員 県と村の合同防災訓練なので、財源は県の補助金ではないのか。

総務課長 県との協定締結の関係上、県負担上限を超えたものは村負担になりますが、特別交付税の対象となるよう要望しています。

臨時会議

11月7日開催

■損害賠償の額を定め和解することについて

◇スクールバス車内で事故があり、それに伴う損害賠償案件です。

鈴木紀夫議員 学校敷地内

で徐行中、転倒するほどの急ブレーキは必要だったのか。

教育課長 発車直後、児童が運転員に触れて、驚いてブレーキを強く踏んだことによる事故です。

鈴木紀夫議員 ケガをされたサポーターの方の当時の状況と現状は。

教育課長 急ブレーキにより、前の座席に右手をつきましたが、4日後に痛みが出て病院を受診した結果、頸椎捻挫の診断であったと聞いています。現在は完治しましたが、サポーターの仕事は大事を取って遠慮していただいています。

近壽太郎議員 安全運転管理者の設置や再発防止策は。

総務課長 季節的な交通安全の呼びかけ、安全運転管理の資料配布や定期的な面談を行っています。該当運転員には事情聴取や注意指導を行っています。

■一般会計補正予算（第6号）

◇賠償金、修繕料、工事費等、総額1,630万円の追加補正。

○道路橋りょう費、修繕料

600万円

菅原修議員 道路橋梁費、修繕料は来春までの見込み計上か。

建設課長 除雪の影響で例年必要となる修繕料を現予算と照らし合わせ計上しました。

○充放電器設置工事

300万円

鈴木紀夫議員 充放電器は高額だが、今後整備予定の電気自動車の台数に合わせ増設するのか。

脱炭素推進室長 同じ充電

口が使える車種をそろえていく予定のため、1台に1機ではなく、検討を重ねた上で必要な数を整備します。

定例会議

12月7日開催

◇議案14件、諮問1件、陳情1件、発委案1件について審議しました。

■一般会計補正予算（第7号）

2億2,980万円追加

○新エネルギー推進事業費

600万円

加藤和泰議員 補助金の具体的な使い道と返済の計画は。

脱炭素推進室長 ふるさとエネルギー社が行う太陽光発電工事の国補助残分の融資で、10年後一括返済を計画しています。

○保育園広域入所委託料

90万円

加藤和泰議員 どのような委託か。

健康福祉課長 村民が、村外の保育園に入所した場合、該当市町村に支払いする負担金です。

○肥料価格高騰対策補助金
1,000万円
平田広議員 水田10a当たり
1,000円の補助を補正
しているが、高温による減
収対策の補助金は補正しな
いのか。

村長 国からの交付金の規
定で価格高騰の名目にして
いるが高温対策も兼ねてい
ます。高温対策用に交付金
があれば対応しますが現状
では最大限の補助です。

○過年発生災害復旧費
9,000万円

平田広議員 工事箇所は。
過年とは現年に見落としが
あったということか。

農林課長 114個所です。
見落としもあります。災
害規模が大きく現年にでき
なかった工事や補助災害に
漏れたものも含まれます。

○ごみ収集委託料

56万3千円
鈴木紀夫議員 プラグみ収集
を月2回にするとのことだ

が、分別不良の対応については、
住民税務課長 分別の周知
活動と委託業者と協議し対
応します。

■農地災害復旧工事変更請
負契約の締結について

◇5,055万円を1億1,
501万円に変更したい。

平田広議員 流木処理費、
排土量増、残土処分地造成
工事費増の理由だが、あま
りにも増額が大きい。

農林課長 工事当初から変
更が多く出ていましたが、
確定的な数字がようやくま
とまりました。災害工事に
は、ある事案で国への変更
手続きを終えたところ。



議員表決結果報告

区分		件名	小澤 仁	加藤つや子	川崎 哲也	近 敬志	近 壽太郎	加藤 和泰	高橋 正之	菅原 修	平田 広	鈴木 紀夫	結果
臨時	議案	損害賠償の額を定め和解することについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般会計補正予算（第5号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
臨時	議案	損害賠償の額を定め和解することについて	—	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	可決
	議案	一般会計補正予算（第6号）	—	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	可決
12月定例会議	議案	任期付き職員の採用に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般職員の給与に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	技能労務職員の種類及び基準に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	診療所勤務医師の給与に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	国民健康保険税条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	保育園条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	市町村総合事務組合の規約変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	一般会計補正予算（第7号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	下水道事業会計補正予算（第2号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案	簡易水道事業会計補正予算（第3号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
	議案	桂地区農地災害復旧工事変更請負契約の締結	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	陳情	議会本会議のインターネット中継実施を求める陳情	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発案	村議会議員の請負状況の公表に関する条例の制定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○ 賛成 × 反対 — 議案が議員本人に関する場合や議長は採決に参加できません。

一般質問

加藤 和泰
議員



村の地域公共交通確保、 様々な検討を進めるべき

議員

運行から3年目となるデマンドタクシーは、利用者ニーズにマッチしているか。また、利用者ニーズの検証は。

村長

現行のダイヤには、夕方に往復する坂町便がないため、利用者から利便性が悪いとの声が届いています。来年度に向けて改善を検討しています。

引き続き利用者の声を聴きながら、親しまれるデマンドタクシーになるよう改善を図っていきます。

議員

路線バスについて、村長の施政方針の中で、引き続き利用しやすいダイヤ編成に努めますと述べているが、令和5年度において更に利用しやすいダイヤ編成となったのか。

村長

令和5年度は、路線バスの発着場を道の駅に移転し、小学校にも停車する事としたため、小学生の利便性は向上しています。

議員

路線バス運行会社の新潟交通観光バスにおいては、新潟市内の路線バスの減便が報道されているが、当村での減便の話はあるのか。

村長

当村においては、現時点では減便するという情報はありません。

議員

全国的にバス事業者の人員不足が報道されているが、村のスクールバスの運転員について、将来的な人員確保は出来る見込みか。



村長

村のスクールバス運行については、他の庁用車の運転と併せて一体的に業務を行う工夫をする中で、現状は運転員の確保は出来ています。

しかしながら、その多くは60代であり、退職者が出た時の補充については課題が残ります。

将来的には、業者委託の選択も視野に入れながら、村広報、ハローワークでの運転員募集を募り、人員を確保していきたいと考えています。

議員

JR米坂線について、本年9月8日に米坂線復旧検討会議が初めて開催されたが、今後の予定は。

村長

今年度内に第2回の検討会議を開催する予定です。

議員

米坂線の復旧に対する村長の考えは。

村長

災害からの復旧との考えから、国の支援によって、

議員

JRの責任で早期復旧してもらいたいとの思いです。

議員

村の公共交通全体の課題については、関川村地域公共交通活性化協議会において、今後どのような形がいいのか検討を進めるべきと考えるが。

村長

協議会の中では、必要に応じて様々な課題について協議することになると思います。



一般質問



かとう
加藤つや子
議員

令和6年4月改正障がい者差別解消法が施行

将来を見据えた 「障がい福祉の充実を」

議員

障がいのある子どもに対して、村の教育現場における具体的な将来施策・支援は。

教育長

インクルーシブ教育(注1)を推進します。

特別な支援を必要とする児童生徒の就学や進級、学習環境など合理的配慮(注2)に努めてきました。引き続き十分な情報提供と可能な限り意向を尊重し、学びの場も柔軟に見直して、障がいの有無にかかわらず、ともに学び一人一人の教育的ニーズに応える指導を提供していきます。

(注1)障がいの有無にかかわらず、全ての子どもがともに学ぶ仕組み

(注2)障がいのある児童生徒が、学校教育を受ける上で生じる障壁をなくすために必要な変更及び調整

議員

現在はどうのような障がいの児童、生徒が通学しているか。

教育課長

知的障がい、肢体不自由、

全盲、自閉症情緒障がいを持つ子ども達です。

議員

健常の子ども達が多様なコミュニケーションを学ぶ機会があるか。

教育課長

特別支援学級と通常学級の子どもの交流学級をしており互いに学び合い、心の育成に繋がっていると思います。

議員

障がいを持つお子さん、その家族からいじめや差別の相談は。

教育課長

特別聞いていません。保護者の方から困り感があると、直ぐに学校の方にお話しをしてもらい対応していますので、大きな問題はないと聞いています。

議員

障がい者等の災害時における避難所設備は万全か。

村長

福祉避難所としては垂水の里、関川愛広苑を指定しています。

立地区域が土砂災害や河

川氾濫の恐れがある浸水害の場合には利用できませんので、一般の避難所に避難して頂くこととなりますが、環境としての課題が多いのが実態です。避難所の設備や備品につきましては順次整備を進めていきます。障がい者や特に配慮が必要な方々の避難所での生活環境整備には限界がありますので、福祉施設や医療機関等と連携を図っていくことが大切だと考えています。

議員

医療的ケア児を持つ家族の避難行動対策は。

健康福祉課長

県と村、保護者と併せて災害時対応のマニュアル化をしています。いま現在、県が中心になつて見直しをかけています。行政側が一方的に決めるのではなく、あくまでも保護者との調整の中で決めていくものです。また、近年ほかの市町村で非常用電源のバッテリー補助支援を行っていますので、村でも現在検討しているところです。

議員

聴覚障がい者のために「手話言語条例」制定の意向はあるか

村長

障がい者・健常者ともに共生社会を実現できるような具体的な施策が大事。村では聴覚障がい者が不利益を被らないよう配慮に努めています。理念的な条例制定に注力するよりも、むしろ具体的な事業の実効性を上げること、障がい者の権利の保護をはじめ、安心した生活を送ることが出来るかと考えます。今後、障がい者に対するコミュニケーションをどうするかという視点で研究していきたいと思っています。



一般質問

鈴木 紀夫
議員



地域の足の復活に向けて JR米坂線

議員

村内を縦断する米坂線は、学生にとつてはまさに教育環境そのもので、村民の足であるだけでなく、鉄道ネットワークで全国つながり村を孤立させない存在企業、学校、施設の誘致、観光や人の呼び込みといった流動人口の増加には欠かせないものと考えます。また、村内に駅があることで地名の宣伝力がある。以上を踏まえ、JR米坂線についての村長の認識は。

村長

長きにわたり、村民の生活、教育、経済活動等に大きな役割を果たしてきたものと認識しています。近年、利用者は減り続けているものの、依然として高校生の通学を中心に、村民に不可欠な路線であることに間違いはありません。また人口減少が進む当村にとつて、鉄道は観光をはじめ遠隔地から訪れる人の交流に必要なインフラであり、今後ともその重要性に変わりはないものと考えています。

議員

県も関川村も、自然災害による被災であることと、公共交通ネットワークの観点から、国が責任を持って復旧に当たるべきとのスタンスだが、現在JR東日本は、企業体力を示す内部留保が2兆8000億円、今期の純利益予想が1370億円。これはまさに国に頼ることなく、容易に自主復旧できるものと考えます。

村長

JR東日本は、コロナ禍の時を除き、毎年のように多額の利益を計上する日本を代表する優良企業であると認識をしています。米坂線の復旧自体はJRが責任を持って行うことは当然ですが、公共インフラの維持という観点を踏まえれば、たとえ企業であつても、災害という避けがたい事態の



際は、国庫補助の充実など国において財政支援の拡充を行うべきだと考えています。

議員

復旧検討会議では、費用負担と利用者減少対策が前提とされた。いわゆる活性化対策だが、利用者を増やすために、村民のニーズをどう取り込み発想をどのように生かすか、どのような働きかけをし、米坂線活性化策を具体的にJR側に示すか、復旧と併せて現時点での考えは。

村長

JRの復旧に当たっては、将来にわたり安定的に運営していくための方策が必要というスタンスを取っています。新潟県内においては、県、村上、当村の三者で、米坂線活性化分科会を立ち上げ、復旧後の活性化策について検討を始めたところです。当分科会においては、住民アンケートの実施について検討をしており、村としましては、分科会の場を

議員

現在、バスの代行運転を行っているが、乗車待ち時間、風雨の吹きさらし状態だ。これからの季節を考えると安全な乗車側の待機場所が必要と考えるが、対策の考えは。

村長

冬季間の運行に当たり、越後片貝駅前に直接代行バスが乗り入れられるようにと供用開始に向けて改修を行っています。引き続きJRに対し、待機場所等の改善要望を伝えていきます。あわせて、利用者が待ち時間を要さないよう、遅延が生じないような安定的な代行バスの運行を求めています。



一般質問



菅原 修
すがわら おさむ
議員

空き家の弊害は

議員

空き家対策については、全国的に社会問題になっており、村でも人口減少や世帯数減少のため、空き家が年々増えている。活用できる物件はまだいいが、放置されている物件が問題であり、倒壊や火災の発生、動物のすみかなど、様々な悪影響が生じている。村として空き家の活用はあるか。

村長

まず最初に、村としての空き家の活用についてですが、議員ご指摘のとおり令和元年度の調査で、村には241件の空き家があり、その後も件数は増えているものと認識しています。空き家の活用策としては、移住者等の住居として活用できるよう、平成28年度から空き家、空き地バンクを設けています。また地域活性化の拠点として、村民有志が、旧斎藤医院をカフェ等にご利用したり、集落支援員の方が空き家を改装してゲストハウスに活用するなどの例はありますが、空き家の立地条件や傷み度合い等により、居住

以外の活用は限定的なものになっているところです。

議員

村内の空き家の戸数は、令和元年の調査では241件とあるが、活用できる空き家と活用できない空き家の把握をしているか。

村長

空き家の活用の可否については、一件ごとに詳細な調査が必要です。空き家、空き地バンクへの登録物件については、登録時に調査を行っていますが、それ以外については、所有者などから村、あるいは集落支援員に申出がある場合を除き、活用ができるかどうかの把握は現在行っていない。

議員

現在土地と建物に課税されている固定資産税は、建物を解体するとどう変わるのか。

住民税務課長

土地と家屋については固定資産税が課税されます。宅地の場合、家屋を撤去し更地にすると特例がなくなり、固定

資産税が高くなることが懸念されるかと思われます。しかしながら、土地の課税標準額30万円未満の場合、課税しないという制度もありますので、土地の価格が低い場合は、上の家屋を撤去したからといって、必ずしも固定資産税が上がるということではありません。

議員

解体に対し、村が補助金を出す考えは。

村長

現在村では、空き家、空き地バンクに登録する空き家に対して、家財道具を撤去する際の費用の3分の2、最大20万円まで補助をすることとしています。当該制度は、登録時に家財道具を撤去すること、物件が利用者とマッチングしやすくなる効果が期待されるほか、最終的に契約に至らず解体することとなった場合には、解体費用を軽減する効果があります。

また、管理不全な状態となっている空き家の解体については、所有者の責任と負担に

おいて行うことが原則です。で、全ての空き家について、解体に一律補助をすることは適当ではないと考えています。

今後、補助制度を設けている他の市町村の事例を、公益性や必要性の観点を含めて研究するとともに、引き続き村内の空き家の実態把握に努めます。

議員

相続者も分からず、周囲の景観を損ねているような空き家もある。行政から指導できないか。

副村長

隣家に危険が及ぶような場合は所有者等を調べ指導する場合もありますが、私人同士のことになるので、十分対応できるかは個別の案件次第になります。公共的に害を与える場合には可能な限り対応しますが、なかなか強制力を持ってないのが現状です。

一般質問

かわさき
つや
川崎哲也
議員



- ・ 観光振興計画を住民に公開を
- ・ 熊出没時の対応と、森林整備による総合的獣害対策

議員

観光庁再生高付加価値化事業申請にあたり、村が作成した観光振興に関わる地域計画（以下、当該計画）の実績と今後の予定は。

村長

同事業は、地域産業の稼ぐ力を回復強化することを目的に実施をされているものです。

当該計画を検討する過程で村と事業者が一堂に会し、村の観光について議論し、一定の方向性を得たことは非常に有意義であったと考えています。

議員

村の観光を考えることは、住民が自分の住む地域のことを再認識・評価する良い機会と考える。

村長

当該計画を広く公開し、意見を求め、交流定住策の

中心となるよう磨き上げていければと考えています。



議員

熊が田畑や集落内で目撃された場合、村の対応は。

村長

熊の目撃情報があった場合、広報無線と防災メールで村民への周知を行います。

議員

住民や他団体（猟友会など）との連携、協力体制は。

村長

猟友会や保健所、警察、消防に協力要請を行う体制

となっています。

議員

それらの団体と定期的な意見交換、課題共有などなされているか。

農林課長

定期的な会合などは行っていない。今後、意見交換などを積極的に行っていきたいと思っています。

議員

令和三年実施の鮎谷集落での獣害対策（集落環境診断）、その後の効果検証は。

農林課長

主に区長に先頭になってもらっていますが、村が追跡調査などしきれていません。再度地域ぐるみで対策を行えるよう考えています。

議員

熊出没の根本的な対策としての森林整備について伺う。

森林の適切な管理は、田畑、集落への鳥獣害防止の

機能だけではなく、土砂災害の危険も軽減し、また良質な木材、水や薪、山菜など資源の供給源にもなり、林業の振興にもつながる。さらに、昨今は自然教育、体験の場としても森林の役割は注目されている。

農林課長

里山の再生に取り組める交付金・事業もあり、村内では取り組んでいる方もいます。議員の考える活動にも、村がどのように関わっていかれるか検討します。



一般質問



近こん 敬たかし志し 議員

夕方無線放送 時間見直しを

議員

近年全国的に子供を狙った犯罪が後を絶たず、県内でも子供の安全が脅かされる事件が発生している。また、新潟県警が公表している声かけ事案等の不審者情報は何度も更新されている。

関川村ではこども110番の家や関川村見守り隊活動などを通して防犯対策を推進している一方で、核家族や高齢者のみの世帯の増加により、家族や地域による見守り機能は弱まりつつある。

現在、防災行政無線を18時に通年放送しているが、犯罪に巻き込まれる危険を予知する能力や、危険を回避する能力を向上させるなど、危機意識を高める取組みのひとつとして、冬季については放送時間を早め、帰宅を促す考えはあるか。

村長

夕方のチャイムにつきましては、村で防災無線を整備した平成元年当時から時刻の変更を行ったことはなく、18時に鳴らしています。防災無線の更新時期でありチャイムのメロディーや鳴らす時間帯などについて村民の意見も聞きながら検討を進めていきたいと考えています。

議員

新潟県内においては、18時に定時放送を通年やっているのが7自治体ある。また、17自治体については、17時に放送している。その中の一部は、夏季と冬季で時間をずらして放送している。

日没が早い冬季については18時ともなると大体帰宅している。当然、生活の一部として利用し聞いている人もいるが、防犯という観点からいくと、もう少し早

めてもよいのではないかと。



村長

冬場になると17時でも真つ暗な状況になるので、議員のおっしゃっている意味はあるかなと思います。

議員

新潟県警の公表によると関川村の犯罪は、令和3年に16件、令和4年は8件、令和5年9月の時点では4件と減少してきている。

県内では、犯罪まで満たない声かけなどの不審者情報は随時更新されているので、予防をするという意味でも、夕方早めに放送を流すというのは非常に有効的

だと考えるが。

総務課長

防災無線の更新時期が来ています。当年度に基本構想をつくり、来年度実施計画という段階を考えています。よって実施計画の段階で決めていく必要があるかなと思います。



一般質問



近こ 壽と 太郎たろう
議員

・心の病により長期休暇を 取得している村職員の現状は ・関川村創立70周年にあたって

議員

これまで早期退職しているケースが毎年のようにあるが、その多くは心の病に侵され仕事が出来なくなつた職員であると認識している。そのような病気のため長期に渡り休暇を取得している人数は。

村長

若い退職者は、新しい職を求めている退職が多く、病気で退職は少ないと受け止めています。病気療養のため長期休暇を取得している職員は4名です。

議員

職員のメンタルの問題における対応については。

村長

まずは自身でストレスチェックを行い、その結果、面談や相談を希望する職員には、保健師や人事担当が面談を行い、状況によっては産業医である診療所長につないでいます。人事評価による所属長との面談を年3回、業務目標に対する自己評価を行うとともに、日ごろの悩みなどを相談でき

る機会としています。また、時間外勤務の状況もチェックをし、一定以上の長時間勤務が認められた場合には、必要に応じ業務分担や人員配置の見直しのほか、産業医の面談を受けさせ心身のケアを行っています。

議員

必要に応じてカウンセラーを配置する考えはあるか。

村長

身近な相談先として産業医を配置しており、職員には市町村職員共済組合や民間の相談窓口を周知しています。相談先については、幅広く確保できれば良いと考えていますが、今のところ専属のカウンセラーを配置することは考えていません。

議員

職員のメンタルの問題について村長としての認識は。

村長

今は官民間問わずメンタルの不調の方が多いと聞いています。関川村特有の事情ではないと考えています。

議員

職員は幅広い視野を養うために、ほとんどの人が二、三年に一回は配置転換しているが、課が変わるということは民間会社の社員にしてみれば会社を変えたような業務内容になる。このことに対応しきれない職員もいる。年功序列にこだわらず柔軟に配置を考えるべきでは。

村長

年功序列にとらわれてはいません。職員には様々な能力があり、その特性を勘案しながら、人事配置を組んでいます。

議員

心の病においても早期に対応することが大切と言われている。相談に行きやすい環境づくりが大切と思われるが。

総務課長

市町村共済組合、民間の相談窓口にはいずれも人事担当を通ずことなく直接相談できる体制になっています。

議員

昭和の大会併により、関谷村と女川村が合併して来年で70周年になる。何か記念行事を計画しているか。

村長

多額の予算を組んでの行事は考えていませんが、村民の皆さんに喜んでもらえるようなことができないか現在検討しているところで

議員

記念行事の目的は、これまでの先人たちの苦勞と村を愛する精神に敬意と感謝を示し、若い人たちに村の未来を描いて欲しいということだと思ふ。予算をけなくとも、このことが伝わる行事にして欲しい。

村長

70周年を迎えるにあたり、議員が言われた通り知恵を出しながら、いい70周年を迎えられるようにしたいと考えます。

議員活動報告

小国町・関川村 議会議員交流会

山形県小国町議会議員との交流会が、関川村役場で開かれました。

両議会とは、県境をまたぎますが、山や川、道路、鉄道などつながり、また両議員同士、議会以外にも交流や繋がりがあることから、両自治体が抱える政治課題などに関しても、意見交換など活発に行われました。



町村議会議員 研修会(後期)

・縮減社会の中に求められる議会と議員の役割
講師

東京大学大学院法学政治学研究科教授

金井 利之 氏

・現代の政治家、その光と影
〜家族史から浮かぶ評論秘話〜

講師

ノンフィクション作家

石井 妙子 氏

新潟県・関川村 総合防災訓練

新潟県と村合同の総合防災訓練に参加。議会では主に、避難所の一つである関川中学校での、住民の避難

訓練と、村の避難情報をデジタルで管理する「防災DX」の実験を視察。

その後ふれあいど〜むでは、消防や自衛隊など関係機関の救助訓練を視察。その他、防災グッズや災害情報などのブースでそれぞれの担当者から話を聞きました。

災害はいつ、どこで起こるか分からず、状況も刻々と変化する中で、関係機関だけでは対応しきれません。一人一人、日ごろから防災意識を高め、また地域との連携を話し合っておくことが大切だと感じました。

新潟山形南部連絡道路 建設促進期成同盟会 住民大会関川大会

人や物資の移動を効率化し、経済活動を発展させ、また救急医療や災害時の避難、救援ルートとして重要な役割を果たす高規格道路。その早期完成を目指す地域の声を社会に届ける大会で

す。鷹の巣館の女将小山氏をはじめ、国交省や飯豊町、小国町からも新潟山形南部連絡道路早期開通に向けた意見発表もありました。



新潟県町村会 創立100周年 記念祝賀会

県内の町村議員と交流し、小規模自治体のあるべき姿、果たす役割などについて、意見交換できた貴重な場となりました。

森をはぐくむ 地域づくり講演

宮城県登米町森林組合の参事で、NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」の林業考証も担当された竹中雅治氏から「需要は自らつくるもの」と題して、同森林組合の先進的な取り組みについてお話を伺いました。

課題山積の林業ではあるものの、世間の森林が持つ役割への期待は大きく、林業も視点を変え工夫しながら発展していける可能性を感じました。



令和5年11月13日(月)

議会モニター会議開催

～ 開かれた議会を目指して ～

村民の目線から
モニター・議員 計15名参集

モニター活動の振り返り

- 2年間の任期
丁度良い
2年目に振り返りできた
- 年間4回の傍聴
丸一日は難しい
アンケート4回
毎回実施は必要か
- モニター会議
意見交換が不足だった
意見に対する回答不足
意見が反映されてない
- 回答や対応が不足
即時対応もあった

モニターの意見と感想

- 議会の流れを知ることができたし、村の抱えている問題を協議している。
- 多くの世代、村民にモニターを経験して欲しい。
- 議会が身近になった。
- 議会で話し合われた事が村民に周知されていない。
- 多くの村民が、行政に興味を持ってもらいたい。
- 行政への提案をもっとすべきでは。
- 短時間で終わる臨時議会の必要性に疑問。通年議会において専決処分できる内容もあるのでは。
- 一般質問、質疑での答弁では「検討します」「今後やります」は、期限を示してもらうように詰めて欲しい。
- 議会は行政のチェック機能であり、何の為にあるか考える良い機会となった。
- 議会だよりをよく見るようになった。
- 議員との交流ができた。
- 傍聴も含め楽しかった。

議会の意見と感想

- ◆ モニターになる前は「議会だより」に関心が低かったことがわかった。
- ◆ モニターに参加して「楽しかった」との意見は嬉しい結果。
- ◆ 行政側「村長」も、モニターの傍聴に対し好感をもっていた。
- ◆ モニター制度を発展させたい。
- ◆ 様々な意見をだしてもらえたことが大きな成果だ。
- ◆ モニター(住民)と繋がることが大切。
- ◆ 楽しく参加してもらえたことが良かった。
- ◆ 村民の議会活動への関心を高め、開かれた議会運営を目指すために「議会モニター制度」を続けたい。

議会モニター制度を知ろう

議会に
参加できる
制度だよ

議会モニターとは

- 村民の皆さまの要望や提言、その他の意見を広く聴き取り議会をより民主的に運営することが目的です。
- 活動内容は「傍聴と議会だより」のアンケートに回答し、議会への提言です。
- 2期目の議会モニターは令和6年4月から活動してもらいます。



議会モニター

アンケート

議会モニターの方から、左記の内容でアンケートに回答していただき、その結果、少しずつではありますが、議会で意見を取り入れながら、定例会議での傍聴時に適宜資料配布や議員の呼名の仕方、マイクの使用の仕方などを改善してきまし

た。
議会だよりについても、図や写真の工夫、レイアウトなどイラストを含め読み手側の視点でつくることを意識しています。
村民の皆さまが関心を持ち、読んでもらえる広報誌を目指し、これからも研鑽を重ねます。

定例会議アンケート

1. 【一般質問について】
 - ・村の行財政全般になっているか
 - ・興味のある質問があったか
 - ・簡単明瞭で要領よく発言されたか
2. 【議会全般について】
 - ・議会を傍聴しての感想
 - ・議会に対する要望

議会だよりアンケート

1. 【表紙写真の感想】
2. 【関心を持った記事】
3. 【読みやすかった記事】
4. 【読みにくかった記事】
5. 【レイアウト】
6. 【記事の写真】
7. 【議会について得たい情報】
8. 【全体を通しての感想】

活動内容を覗いてみましょう！

9月定例会議アンケート（抜粋）

1. 一般質問について

- 質問の内容（村の行財政全般になっているか）
はい・・・4人 いいえ・・・0人 どちらでもない・・・4人
- 興味のある質問があったか
はい・・・7人 いいえ・・・0人 どちらでもない・・・1人
- 簡単明瞭で要領よく発言されたか
はい・・・5人 いいえ・・・0人 どちらでもない・・・3人



2. 議会全般について

- 議会を傍聴しての感想
「新体制で新鮮」「スムーズな進行」「傍聴者が多かった」「村民が知りたい質問であった」
- 議会に対する要望
「議員との交流会があると良い」「質問通告書は、すり合わせしないのか」「活発な活動を」「行政に対するチェック機能を果たし、提案型議会を」「関連質問がない、深掘した質問を」

【議会より】

●今後も議会モニターの意見を反映させていきます。

村民の声

空を見よう

かん だ きょう しん
神 田 恭 真 さん
(下土沢)



私はノートに思いついた言葉を書いて大切にしています。書くことで自分のことがわかったり、その言葉から感謝や取り組みを見つけたりすることがあります。今書き続けているこのノートが、いつか気持ちを元気にしてくれる、誰かを助けたいと思うことを世界に一つと書きとめています。ノートには主に生き方について書いてあって、最近は空について書いてあります。

空を見ていると命の大切さが見えてきます。この空は命のはじまりと終わりをいっばい見えてきました。遠くにいる友達、楽しい思い出、世の中のもの、なしき、正しさと理由、旅

立った仲間、元気にしているだろうか。昔の出来事にもう一度会いたいけれど会えないとつくづく思います。少し若い頃、私は悩みの多い人でした。小さなことで悩んでは気持ちが落ちつかなかったです。今は元気に生きています。みんな悩みがあつて、今日を安らかに静かに終えることも難しい日があります。終えなくても、はじめればいいと思います。目の前の大空が背景になるから、そこに自分を思い描くとき、生命の躍動があります。

空を見ていると、今まで生きてきた命を少しの間でもいいから思い出そうとします。この命に何か目的を持ちたいいつも考えています。命は何か目的を持つと安心します。しかし、生きることは何かを失い、得続けている人はいない。すべては過ぎ去っていくけれど、過ぎ去るだけでは終わらない何かを見つけない。生きている日々を迷うことがあっても、大空に大志を

お詫びと訂正

議会だより133号掲載記事に誤りがありました。4ページ記事内の「令和4年度決算審査特別委員会」見出しで、

(正) 平田 広 委員長

(誤) 近 壽太郎 委員長

を訂正し、お詫びいたします。

編集後記

年明け早々、能登半島沖地震が発生し、県内でも大きな被害が出ています。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

この数年は大雪のため除雪作業で大忙しでしたが、この冬は積りはじめが遅く助かっていきます。しかし、子どもたちは雪あそびができず少し不満そう。

厳しい寒さが続いています。が、草木の芽吹きは近づいています。

長年愛されてきた下関保育園と大島保育園が統合して4月からは、関川なないろ保育園として新たにスタートします。未来を担う子どもたちのはじける笑顔が待ち遠しいです。(た)

議会広報常任委員会

委員長 加藤つや子
副委員長 加藤 和泰
委員 近 壽太郎
委員 鈴木 紀夫

川崎 敬志
近 哲也